



このまちの「豊かさ」をつなぐために



天理駅前広場

の整備について

平成29年4月、天理駅前広場が変わります。時代によって街の中心地が担う役割は移り変わってきました。時には多くの人々を効率よく運ぶことが必要になり、ある時には安心できる空間になることが求められました。いま、日本は少子高齢化社会に突入し、天理市も例外ではありません。これからも住み続けたいまちであるために、いま「駅前広場」ができることは何なのか。

「このまちが育んできた多くの魅力をまちの元気につなげたい」。市民協働で話し合う街づくり協議会が一貫して持ち続けてきた思いです。天理の芸術文化、スポーツ、ものづくり、教え、そして子供から高齢者までが絆をもって共に暮らしてきた日々の価値を、いまみんなで共有し、新たな価値を生み出していく。天理駅前広場はその拠点となります。

4月から来年3月まで、広場にお入りいただくことができなくなりますが、「にぎわい、つながる街空間」づくりのため、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

豊かな
天理の
ショーケース!

新しい 天理駅前広場の つかい方

みんなで
いろいろ
つかおう

外遊び場づくり
の先駆け

これからの学校・公園の整備へ

まちなかで外遊び



アクセスの良い駅前が、子供の外遊び場所に。ブランコ、すべる・のぼる「ありじごく遊具」、大トランポリンなど、幼児から小学生までが、10種類の様々な遊具で遊べます。

健康遊具で体づくり



天理大学体育学部さんと選んだ4種類の健康遊具と、簡単にできる歩行力測定遊具。近くに子供の遊び声がきこえるシニア世代の方々の体づくりの場です。

多世代が交わり
健康寿命を
楽しく延ばす

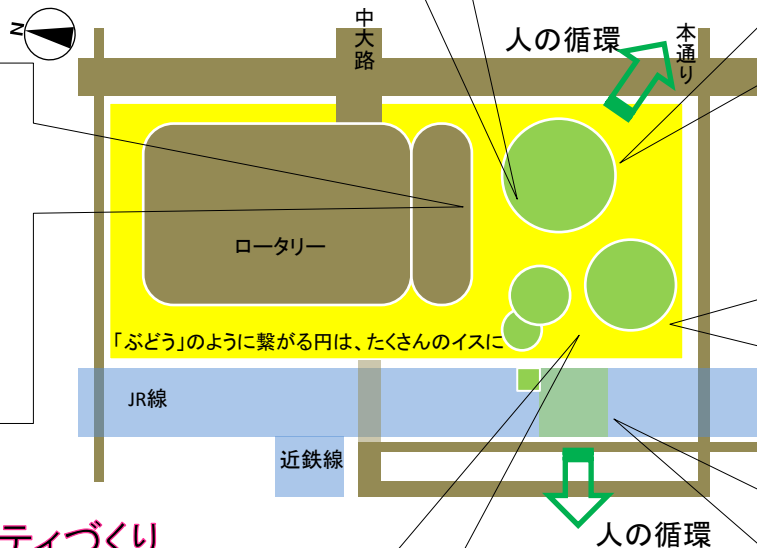
メディカルセンターと連携

道路整備と連携し
市内車移動の中心地に

ゆったり駐停車



一足早く、43台と広くなってリニューアルされた駐車場。今年4月から1時間半まで無料に。買い物や広場遊び時にどうぞ。



みんなが顔をあわすコミュニティづくり

スポーツの裾野を広げる 味や手触りを届ける



数人での朝ヨガから、大人数でのノルディックウォーキング、スポーツクラブのPRなどには、芝生(天然・人工)エリアが使えます。雨天時には南団体待合所も活用いただけます。



野外ステージの周辺を中心にして、農産物や工芸品の市、フリーマーケットなどができます。広場の各所に電源を配置、またトイレ付近には給排水所も備え、フードイベントがしやすくなります。

防災・人権・福祉を知る



地域の暮らしを守るために広めたい、さまざまな取組や制度、技術も、人々が行き交う広場で多くの方にその大切さを伝えることができます。

整備の財源は?

総事業費(広場、ロータリー、駐車場、ナビ天理、南団体待合所)は約14億円です。国や県との協力のもと、**天理市の財政負担は半分以下に抑えられ**、平成27年、28年の当初の支出は2割以下で、残りの3割程度は起債により今後分割で対応します。

駅前の投資が数倍規模の街の整備を呼び込んでいます



名阪側道
(上総～南六条)
市中心部から京奈和自動車道・西名阪自動車道郡山下ツ道JCTを結ぶH28年度完成予定 国の事業



(仮称)九条バイパス
(東井戸堂～西長柄)
市内中心部を経由して南部と北部を結び周辺道路の混雑を緩和 H27年度より調査開始 県の事業



しごとセンター
(市役所地下1階)
ハローワークと企業支援を合わせ、市内就業に繋げる H28年2月開設 国と市の連携事業



(仮称)奈良県国際芸術家村
(山の辺の道周辺)
県の特徴ある芸術と文化の継承と活用を担う 県の事業

一過性のイベント会場から、常時何かを発信し、市内のいろんな人と場所と活動をつなぐ空間に。

天理カルチャーの発信拠点



半屋根と横壁のある野外ステージには、約200人の客席。音楽やダンス、映像でのスポーツ観戦、ビジネスイベントなど、ファンのすそ野を広げるのに最適のオープンステージです。屋内には楽屋も。普段の練習や待合場所にも使えます。

見える化
芸術文化・スポーツの

天理駅前広場のデザインを担当

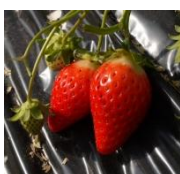
佐藤オオキさん
(デザインオフィスnendo)

まちの魅力のひとつである「古墳」の響きや市民が「ふふん」と自慢げに思う語感。英語で「共に」「楽しむ」「喜ぶ」意味を合せCo-fu-fun(コフフン)という作品名をつけました。



活動が駅前広場からつながる・広がる

食と周遊観光の拠点



天理や奈良の地元食材をつかった「食」を通じて地域の豊かさを発信。また観光客の方は、サイクリングやハイキングで、県内の各所への旅の拠点として利用できます。食育や婚活イベントにも。



石上神宮



山の辺の道



古墳群



柿本人麻呂



天理参考館

食文化の見える化
観光地への誘導

南団体待合所・ナビ天理



現ナビ天理は地域の逸品のあるアンテナショップ。南団体待合所は団体利用を妨げない日については、周辺店舗やレンタサイクル、周遊観光情報を提供。絵本や授乳室を備えた小さなお子様が過ごせる空間も。

商品を磨きあげる



事業者の方々は、ものづくりの付加価値化、周辺既存店舗への誘導や新規顧客開拓などに利用していただけます。

学んで考える



ビジネスセミナーや子育て講座も、パブリックな空間のなかで、リラックスした雰囲気。行き交う人が「あれ参加したいな」と気づく場にも。

ものづくりの付加価値
市内情報の発信
絵本広場

教育、医療、福祉関係にシワ寄せが？ いえ、より着実に充実して進んでいます。

総合的な教育環境づくり

前栽小学校



今年3月に完成しました。経年劣化していた校舎の建替えと、児童の急増により建設したプレハブ校舎の解消。多目的室や図書館では地域の方々の交流もできるようになりました。

健康を支えるシステムの充実

メディカルセンター



健診による病気の予防から医療、介護まで、地域の健康を広く担う地域包括ケア拠点としてリニューアルオープンしました。4月からは保健センターにあった休日応急診療所もこちらに移設されます。

安心の出産・子育て環境づくり

嘉幡保育所



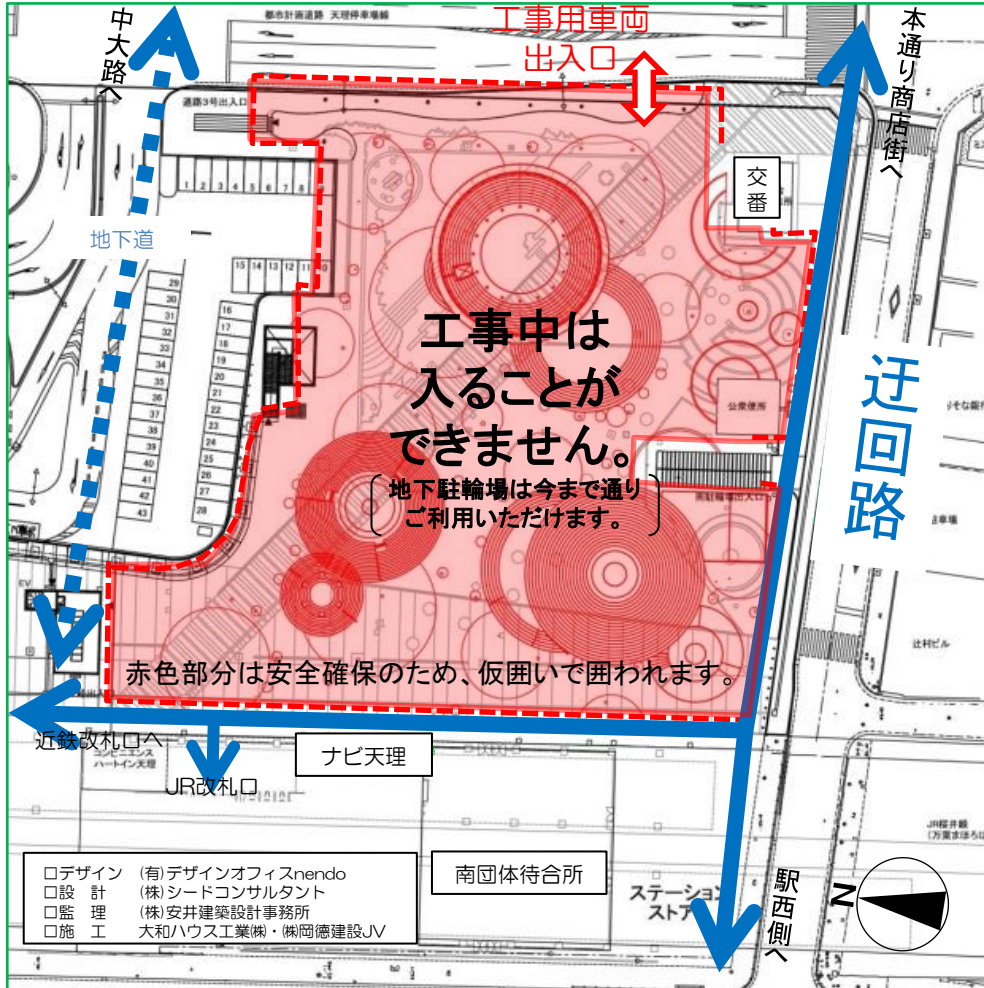
今年2月に完成しました。耐震基準を満たす園舎への建替え、リズム棟との連絡通路整備。園庭の拡張にもつながりました。

(仮)子育て世代すこやか支援センター
休日応急診療所のあとに、29年度に開設予定。妊娠前から、出産、子育てまで切れ目ないサポートを実施します。

☆ハード整備だけでなく、「子ども医療費助成の拡大」、「多子世帯の保育料の軽減」、「核家族・単身世帯への水道料金引き下げ」など「暮らし」を支える施策も進んでいます。

工事中の迂回ルート

4月下旬～来年の3月下旬まで広場には入ることができません。
誠にご迷惑をおかけいたしますが、迂回路のご利用にご協力
お願い申し上げます。



工事スケジュール

	平成28年度	平成29年度
駅前広場	4月 工事 3月	グランドオープン
南団体待合所 ナビ天理	8月 工事 12月	グランドオープン

お問い合わせ電話番号

0743-63-1001

プロジェクト全体のこと … 総合政策課統括係
工事のこと … まちづくり事業課工務係

基本設備でイベントがしやすく

野外ステージ

- 音響設備
- 移動式スピーカー・マイク等
- 映像設備
- プロジェクター、スクリーン等
- 照明設備
- ピンスポットライト等

広場

- 電源設備
- 広場内各所
- 給排水設備
- 手洗い場1基 (トイレ付近)

南団体待合所

- 音響設備
- 移動式スピーカー・マイク等
- 映像設備
- プロジェクター、スクリーン等
- 照明設備
- ピンスポットライト等

安心して過ごせる設備

ユニバーサルデザイン

- 点字ブロック
- スロープ
- 階段手すり

セキュリティ

- 防犯カメラ
- 定期的な警備員巡回



○フリー-WIFI

※南団体待合所は、団体ご利用を妨げない範囲での活用となります。

駅前広場の 変遷

昭和
前半



昭和42年以前。上) 近鉄天理駅。下
左) 国鉄丹波市駅。下右) 国鉄の踏
切 (近鉄天理駅前付近)

増加する鉄
道利用者の
利便性

昭和
42



昭和42年、天理総合駅が完成。
広場にはバスやタクシーの
ロータリーと駐輪場。

安全で快適な
空間のため、
駐輪場を地下
へ。

平成
15



平成15年、防災機能も備えた
現在の駅前広場が完成。

市全体の活
性化の中心
拠点

平成
29



平成29年、これまでの機能に
加え文化や産業、観光情報の
発信、賑わいを生む広場へ。